



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース

県議会控室 823-9524
住 宅 872-9324

高知市丸の内1-2-20
高知市福井町 1475-3

2024. 3. 24
No. 785

3月県議会 港軍事利用 強引なデジタル化 教員不足続くなど 新年度予算反対 (3月21日開会) 港の軍事利用反対緊急署名 4,260 筆「県民への説明を求める」

県教育委員会は、教員の病休の内、精神疾患と診断されるケースが増加しているとし、教員の悩みを聞くサポート員を増やすと説明しました。

配置は全県でたった1名。繰り返されるハラスメントの実態や病休状況からも本来は正規教員や少人数クラスを増やすことが必要ですが、その為の予算や人員配置が改善しているとは言えない状況です。

教員メンタル疾患増加

高知県警は、強制するものではないとし、免許証だけの対応も続けると答弁しました。

教員の相談役 全県で1名

県はデジタル推進を3本柱のひとつに位置づけ横断的に取り組むとしています。新年度には車の免許証とマイナカードを統一しても利用できる様にするための機器購入予算が盛り込まれました。

車免許証とマイナンバー一体化

県民に十分行わないまま3月中にも高知の3港湾を軍事利用できる協定を知事は結ぶたいと答弁しています。港をどう使うか、許可権をもつ知事は地方自治の原点にたち国の戦争準備は拒否すべきです。



軍事利用の協定は拙速すぎる

県は自衛隊の訓練は防災に役立つと言いますが、平時の定義が問題です。平時とは、重要影響事態や存立危機事態も含まれますが、意味は武器弾薬を輸送し部隊を展開、米軍の後方支援ができることとされています。明らかに戦争(有事)の訓練を日常から行う事を許すものです。十分な説明を

高知県

とくていりようこうわん
特定利用港湾

高知港
須崎港
宿毛港

軍事利用!

国と県
せつめい
これまでの説明では...

「平素における空港・港湾の利用を対象としたもので、
「武力攻撃事態」のような
有事の利用を対象としない」

ところが...

県議会の質問、3/15防衛省などへの聞き取りで

「平時」とは ふくはんめい
ここまで含むことが判明...!

グレーゾーン事態	重要影響事態	存立危機事態	武力攻撃事態
・米軍の武器等の防護 ・治安出動、海上警備行動等の適用範囲の拡大	日本周辺に限られず、重要な影響を与える事態であれば米軍支援活動が可能になる	第三国への攻撃であっても、それにより日本の存立が脅かされ、国民の生命や権利が根底から脅かされる明白な危険があるとき認められれば武力行使が可能になる	日本への武力攻撃が発生または発生する明白な危険が切迫していると認められれば、国際の義務の行使としての武力行使が可能になる

日本が他国から武力攻撃を受けていないにもかかわらず、海外で戦争を行う米軍等に荷担し、戦争に参加することになる。

くんとしき いち も みなと こく
軍事的な位置づけを持った港は、国
さいほうしょう こうけきもくひょう おそ
際法上、攻撃目標にされる恐れがあ
ります。つまり、とくていりようこうわん
定は、海外・米軍の戦争を、高知へ
飛び火させ、けんみん せんそう まこ
危険性があります。

しかも、

「港の軍事利用 県が3市に説明」

県、終始＝「メリットある」と説明
3市＝「県を尊重する」と回答

19日、県は候補にされている、高知市・須崎
市・宿毛市(副市長)に対し、県としての報告、
考え方を説明。高知市は市民、議会から不安
の声を聞くとしつつも「軍事利用がない」との県
の説明を受け止め、県にそうとしました。

この重要な事実を、国と県は隠して
きました。それどころか、けんみん せつ
明しないまま、がつまつ こうい
うとしています。

→ 国の戦争準備の動きに県がのっか
て、OK、OKと言うごまかし。本当に危険です。